

項目	内容
名称	オウギ、キバナオウギ、ナイモウオウギ [英]Milk vetch [学名]キバナオウギ Astragalus membranaceus (Fisch.) Bunge. ナイモウオウギAstragalus mongholicus Bunge
概要	オウギは、中国の東北、華北地方および朝鮮半島に分布するマメ科の多年草。日本 薬局方ではキバナオウギまたはナイモウオウギの根が生薬の黄耆（オウギ）として利 用されている。一方、健康食品の原材料としては葉・花・茎が利用される。
法規・制度	■食薬区分 ・根：「専ら医薬品として使用される成分本質（原材料）」に該当する。 ・茎、葉：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 （原材料）」に該当する。 ■日本薬局方 ・オウギが記載されている。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	
分析法	・イソフラボノイドを紫外可視検出器（検出波長280、260 nm）を装着したHPLC にて分析した報告がある（1988146652）（1993224446）。 ・カリコシンを紫外可視検出器（検出波長260 nm）を装着したミセル動電クロマト グラフィーにて分析した報告がある（ PMID:11019650 ）。

有効性

循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
ヒトでの評価 糖尿病・内分泌	<p>メタ分析</p> <p>・2015年12月までを対象に6つのデータベースで検索できた無作為化比較試験13報について検討したメタ分析において、2型糖尿病患者によるゲンゲ属 (<i>Astragalus</i>) の水煎じ物の摂取は、糖代謝マーカー (食後血糖 (3報)) 上昇の抑制、糖代謝マーカー (空腹時血糖 (4報)、HbA1c (2報)、空腹時インスリン (3報)、HOMA-IR (2報)) の低下と関連が認められたが、糖代謝マーカー (HbA1c、HOMA-IR) については試験によるばらつきが大きかった (PMID:27269392)。</p>
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

- (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら
監訳
(1998146652) 北海道立衛生研究所報. 1987;37:48-52.
(1993224446) 東京都立衛生研究所研究年報. 1991;42:33-7.
[\(PMID:11019650\) 薬学雑誌. 2000;120\(9\): 779-85.](#)
(2005018114) 日本皮膚アレルギー学会雑誌. 2004;12(1):30-4.
(1999206268) 漢方と最新治療. 1999; 8(1):35-8.
(1996156498) 衛生化学. 1995;41(6):463-9.
[\(PMID:24806627\) J Clin Pharm Ther. 2014 Oct;39\(5\):561-3.](#)
[\(PMID:27269392\) J Ethnopharmacol. 2016 Sep 15;191:206-15.](#)
(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS).
(1999200917) 和漢医薬学雑誌. 1999;15(5):460-1.
(29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館